

〔四國〕愛媛縣周桑郡石鏡山 (藤川福二郎; 1933, 8, 26)。高知縣: 幡多郡竹屋敷 (藤川福二郎; 1935, 8, 13)。

〔本州〕静岡縣: 周智郡秋葉山 (朝比奈泰彦; 1926, 7, 16)、田方郡天城山 (朝比奈泰彦; 1927, 8, 24 及ビ 1930, 8, 25)、駿東郡御殿場 (朝比奈泰彦; 1929, 8, 1) 同須走口 (朝比奈泰彦; 1932, 4, 7)、富士郡大宮口二合目 (朝比奈泰彦; 1925, 7, 6)、田方郡三島町蘆澤山 (朝比奈泰彦; 1926, 8, 21)。神奈川縣: 中郡大山 (緒方正資; 1925, 11, 20)。千葉縣: 長生郡八積 (藤川福二郎; 1931, 12, 26)。

我が南洋委任統治諸島ニハ更ニ一種 *Dictyonema irpicinum* MONT. ガ産スルコトガ小林義雄氏ガポナペ島ニ採集 (1936, 8, 30) サレタ標本デ知ルコトガ出來タ。

(佐藤正己)

### ○南鳥島産ノ植物 (Plants of Marcus Island).

同名ノ標題ノ下ニ矢部吉禎教授ハ植物學雜誌十六卷 258 頁ニ「南鳥島ハ北緯 24° 17' 20" 東經 154° 1' = 位シ、小笠原ヲ距ルコト 628 哩、全島殆ド三角形ヲナシ、周圍僅カニ 3 哩、海面上ノ最高點僅ニ 60 呎、珊瑚ノ破片ヨリ成リ、其ノ植物ハ非常ニ少シト。今夏米國ト事アリ、軍艦高千穂ヲ派遣セラリ、神保教授之ニ搭ジテ該島地質探究ノ際下記數種ノ標品ヲ携ヘ歸ラレ松村教授ノ許ニ寄セラレテ曰ク該島植物ハ殆ド此數種ニ止マレリト。大概熱帶地方普通ノ品種ニテ該島特産ノ物之ナシ」ノ記事ニ續イテ植物ノ目錄ガ擧ゲテアル。

今回、小生ハ圃ラズモ母島沖村ノ人、奥山丈一氏ノ同島ニテ採集セル貴重ナル標本ヲ小笠原營林署長町田勇作氏ノ御好意ニヨリ入手シ得タ。ヨツテ研究ノ結果ヲ矢部氏ノ目錄ト合シテ表記スレバ、次ノ如クナル。( \* 印ハ矢部氏ノ既ニ報告セルモノ )

- \*1. *Scaevola frutescens* KRAUSE in ENGLER Efl.-Reich 54, p. 125 (1912).  
てりばくさとべら
- \*2. *Morinda citrifolia* LINNÆUS, Sp. Pl. ed. 1, p. 176 (1755). やへやまあをき
- \*3. *Messerschmidia argentea* JOHNSTON in Journ. Arn. Arb. 16, p. 164 (1935).  
もんばのき
4. *Malvastrum tricuspidatum* A. GRAY, Pl. WRIGHT. 1, p. 16 (1852). えのき  
あふひ
- \*5. *Portulaca oleracea* LINNÆUS, Sp. Pl. ed. 1, p. 445 (1753). すべりひゆ
- \*6. *Boerhaavia repens* LINNÆUS, Sp. Pl. ed. 1, p. 3 (1753). なはかのこさう
7. *Pisonia grandis* R. BROWN, Pro l. Fl. Nov. Holl. p. 422 (1810). とげみうど  
のき
- \*8. *Cocos nucifera* LINNÆUS, Sp. Pl. ed. 1, p. 1181 (1753). ここやし
9. *Dactyloctenium aegyptium* RICHTER, Pl. Eur. 1, p. 68 (1889). りゅうのつ  
めびえ
10. *Lepturus repens* R. BROWN, Prod. Fl. Nov. Holl. p. 107 (1810). はひしば

11. *Setaria lutescens* HUBBARD in Rhodora, 18, p. 232 (1916). きんえのころ

*Pisonia grandis* ハ濠洲・セイロン・蘭領印度・ニューギニア・モルッカ・ミクロネシアポリネシアニ廣ク分布スルガ、本島ハ恐ラク北限自生地デアラウ。之ハ島内デ最大ノ木本デ、高サ 10 m ニ達スルモノモアリウどのきト稱スル由デアル。通覽スルニ、汎熱帶的ノモノバカリデ、小笠原ノフローラノ影響ハ全然認メラレナイ。新生珊瑚島ノフローラハ斯クノ如キモノデアラウ。 (津山 尙 T. TUYAMA)

### ○いづせんりやうナル名稱

今日吾人がいづせんりやうト稱スル名ハ果シテ何時頃出來タモノデアラウカ。本草綱目啓蒙卷之十三常山ノ條下ニハ「杜莖山うばがねもち」トアル。杜莖山ハ植物名實圖考ニヨレバ「花紫色實如枸杞」トアルカラ、勿論いづせんりやうデハナイガ當時此名ガ用ヒラレタ様デアル。然シテ其和名ハうばがねもちデアツテ、最近迄下山順一郎氏ノ「藥用植物學」ニモ長イ間用ヒラレテ居タ。ソレカラいづせんりやうノ名ハ本草圖譜十九卷毒草部(東大本デハ第二十二卷)(大正六年三月二十八日發行)ニ「豆州權現の山に多きゆゑ伊豆せんりやうともいふ」ト出テ居ルシ、草木錦葉集前編卷之一(文政十二年)一丁及三丁ニハ「楯芽樹いづせんりやう」ト出テ居ルノデ、恐ラク江戸時代ニ出來タ名デアラウ。本草圖譜毒草部ノ出來タノガ天保9年(1838)デ錦葉集ノ刻サレタノガ文政十二年(1829)トスレバ既ニ文政天保ノ頃出來テ居タモノト察セラレル。マタ白井先生ノ四季花木名稱考(本草論攻第三卷 p. 224)ニハ西州木狀ニモ此名ガアル由デアルガ、此書ヲ私ハ見テ居ナイ。ソコデ伊豆山權現ニ往キタル處、今尙極メテ多量ニ産スルヲ知ツタ。 (久内 清孝)

### ○ぎんりようさうトしやくぢやうばな

最近いちやくさう科ノ専攻家デアル H. ANDRES 氏カラ受取ツタ手紙ノ中ニ、日本デ *Monotropa uniflora* L. トイツテキルモノノ大部分ハ自分ノ建テタ *Monotropastrum* 屬ノモノデ、日本ニハ 3, 4 ノ新種ガアル様ニ思フガ、ソノ中ノ一ツニ *Monotropastrum globosum* H. ANDRES ノ名ヲ與フル積デアルト云ツテ札幌産ノ標本ノ寫眞ヲ同封シテキタ。ソコデ早速ぎんりようさうヲ再檢シタトコロ、意外ニモ我國ニ廣ク分布シテキルぎんりようさうハ *Monotropa* デハナク彼ノ云フ如ク *Monotropastrum* デアル事ガ分ツタ。コノ2屬ノ最モ重要ナ區別點ハ、*Monotropa* デハ子房ガ 4-5 室デ中軸胎座デアルガ、*Monotropastrum* デハ1室デ 6-13 個ノ突出シテ側膜胎座ヲ有スル事デアル。外觀ガコノ様ニ互ニ酷似シテキテ子房ノ構造ヲ全ク異ニシテキルノハ眞ニ不思議デ、いうれいたけノ異名ニ應ハシイ。筆者モ以前カラ日本ノモノガ米國ノト同一カ否カニ疑ヲ持テ、アルコールヤフォルマリンニ漬ケタ標本ヲ持ツテキタガ、子房ヲ切斷スルノヲ怠ツタタメ ANDRES ニ先鞭ヲツケラレタノハ残念デアル。ぎんりようさうハ個體ニヨル變化ガ極メテ著シク、莖ノ太サ、花ノ大小、花瓣ノ數、雄蕊ノ數、子房ノ形、鱗片葉ノ形、發生ノ時期等ガ一定セズ、同一個所ニ於テモ別種ノ如キ觀ヲ呈スル個體ガ觀察サレルカラ、我國ニ ANDRES ノ考ヘタ如ク數種ア